

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課（放課後対策担当）

施設名称	〔39〕 東京都台東区立台東児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館 8 館、16 こどもクラブ					
(3)経営状況	（27年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,816,804,521円， 支出2,832,987,406円， 収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区台東 1 - 1 1 - 5					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日を除く）：午前9時30分～午後6時一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5)規模	RC 5階建 3階 事務室・遊戯室・図書室・休養室・集会室等 台東保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員2名、アルバイト等8名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	31,823,000	33,633,000	32,009,000	34,550,000	36,749,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	31,823,000	33,633,000	32,009,000	34,550,000	36,749,000
決算	委託料	31,656,518	31,887,180	31,848,765	34,386,235	34,075,866
	利用料金収入	0		0	0	0
	その他収入	0	17,000	305,108	61,950	25,100
	管理経費	31,656,518	31,904,180	32,153,873	34,448,185	34,100,966
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
開館日数	日	332	333	334	331	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （29年度）	25年度	26年度	27年度	
利用者数	人	12,000	13,614	14,512	17,701	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

近隣の幼稚園や中学校への行事案内、町会掲示板への掲示により児童館活動の周知に努めた。行事を通して、地域との関わりを深め、児童館への理解と協力体制を築いた。中高生のニーズを探り、学習や語らいの場の提供と年代に合った学習支援を行った。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [3]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	乳幼児親子が一日ゆっくりとくつろげるように、授乳コーナーを設け、遊具の配置の工夫を行い、多グループの快適な利用空間を作った。
(2)施設の維持管理	A	図工室において、作業内容でスペースを分け、動線を考慮し、工具と材料を安全に利用できる配置にした。
(3)利用者の満足度	S	中高生対象に、試験前後の学習支援を行った。また、将来の職業についての相談など、日常的に児童の健全育成を支援した。
(4)収入支出	A	サーキュレーターの使用、うちの貸し出しを行い、積極的に省エネ・省資源・環境配慮に取り組んだ。ゴーヤのグリーンカーテンを栽培し、環境について考える機会を設けた。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	乳幼児親子がくつろげる工夫、中高生の学年に合った寄り添い、学習支援が、利用の定着となり、利用者が増えた。乳幼児から中高生、大人まで幅広い世代の支援を行っている。
-----------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

- ・児童館のおたよりを拡大し、利用者のコメントを掲載することで、興味を持っていただく工夫と行事のチラシを早めに周知することで、児童館活動のPRを強化していく。
- ・図書室のレイアウトを変更し、座卓中心からテーブルと椅子を用いた学習しやすい環境にする。